

事業実績評価 平成31(令和元)年度分

＜掲載事業について＞

ページ	事業名	区分
1	一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略

＜自己評価の選択肢について＞

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
－	その他

瑞穂市

圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業			所管		総合政策課					
重点施策該当		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		基本目標2-(2) 商工業の活性化					
施策の内容	・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の活性化を行うため、多様な主体により練り上げられた穂積駅圏域拠点化構想の将来ビジョン” みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ ～圏域のプラットホームとして ヒト・モノ・コトを つなぐ・つむぐ・むすぶ～」を実現するため、平成31年度までの期間目標を「地域・圏域への認知」と定め、平成29年度を「地域認知の向上と変化のはじまり」と設定、穂積駅の拠点としての認知向上と意識啓発、取組の見える化につながる初動的取り組みを重点的に実施する。									
	主な事業									
				H29全体事業費 23,728千円 うち交付金対象事業費 20,736千円 うち交付金 10,000千円						
年度別実施計画	R1年度（実績）		事業費(千円)	R2年度（計画）		事業費(千円)	R3年度（計画）		事業費(千円)	
	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業		22,550	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業		21,593	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業		【調】	
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(目標)	R7(目標)
穂積駅乗降客数			人	17,606	17,846	18,188	18,480	18,686	18,700	19,000 (H33)
就業人口・労働力人口			人	25,343 (H22国調)	26,730	26,730	26,730	26,730	25,000	25,000 (H33)
新規出店数			件	0	2	3	5	6	6	8 (H33)
自己評価	目標達成に効果があった		令和元年度は、地域の方々が主役となり、駅周辺のまちづくり（商業活性化を含む）を推進するための組織（民間活動団体）を設立することを最大の事業目標と位置づけ、事業を実施してきたが、達成（設立）できなかった。ただし、その母体となり得る組織（自治会やワイワイ会議）と話し合いなどを通して連携を深めるなど、その設立に向けて順調に準備が進んでいる。 その過程において、「ほづみ夜市」の開催や地域住民による「駅南金曜市」の継続も駅周辺を活性化させる取組として、継続的に実施できており、駅利用者に向けて、駅周辺の商業的ポテンシャルの一遍を感じることができた。							
外部評価	目標達成に有効であった		コメントは別紙のとおり							

総合計画等評価審議会 評価結果

事業	総合戦略	-圏域応援ステーション-穂積駅圏域拠点化構想推進事業			担当課	総合政策課
評価	有効であった	10件	83.3%	評価 まとめ	有効であった	
	有効とはいえない	2件	16.7%			
	欠席	0件			有効とはいえない	
コメント	良かった点	・ワイワイ会議、ほづみ夜市に加え様々な取組が増えている ・「今、出来ることを」ということが良く伝わってくる ・活動団体設立には至っていないが、その足がかりとなる組織・人材ができつつある ・空きスペース活用は定着している ・市民等協働活性化の取組みで得られた意見から生活環境改善の取組みに発展した事は大きな前進				
	悪かった点	・バスの乗り入れについては、費用対効果が見込めない路線がある ・若い人が楽しめるスポットがもっとあると良い				
	提案・要望点	・利用者の多い朝日大学生の意見を聴くべき ・市民を巻き込む勢いをさらに増やし、広報活動による周知も増大させていってほしい ・目標とする駅はあるのか ・今年度の国勢調査の結果次第で目標の変更はあるのか ・農協の土地の取得により、もっといろいろ考えられることもありそう ・にぎやかしについては、商工会の力を借りて考察した方が良い				
	主な質疑と それに対する回答	・目標値である新規出店数の基準は。駅周辺の店舗が減り、駐車場ばかりが増え、活性化というより衰退しているようだが。 ⇒駅周辺の新規出店数をカウントするエリアとしては、駅を中心に1.5km以内をエリアとしている。空きスペースを活用した金曜野菜市やキッチンカーの出店が現在もあり、駅の利用者に少しずつでも穂積駅で時間を過ごして頂けるようにしていきたい。駅周辺の高齢化も進んでいるが、賑わいの創出ということで、今できること、すぐに実行できる取り組みをしていきたい。 ・安八穂積線や大野穂積線についてはどれだけの費用対効果があるのか。利用者が少ないと思うが。 ⇒駅を基点として、この穂積駅の価値や魅力を高めるためにバスを市外に向けて北や南に走らせている。廃線は考えておらず、電車と違って路線の変更や時間を柔軟に変更できるメリットもあるため、様々な意見をいただきながら、まずは利用者の利便性を高めることに主眼をおき、利用が増えるような施策や取り組みを行っていきたい。				